

趣意書

平成二十三年三月十一日に発生した東日本大震災から五年の月日が流れ、復興という言葉が目に見える形で徐々に現れはじめてはおります。そのような中、本協会の活動が復興の一助となることを確信し、明るく元気にバスケットボールに打ち込める環境づくりを目指して、中・長期的展望を持って活動に取り組んでおります。

さて、本協会は、本県バスケットボールの競技力向上のため選手強化、指導者育成、競技の普及等、様々な活動に取り組んでおります。特に、強化事業に関しては今以上の躍進を強く目標に掲げ、選手のみならず、指導者育成のための環境整備に尽力して参ります。昨年度は、各チームの選手、指導者、関係者のたゆまぬご努力により、成年、高校、ジュニア、ミニともに、ブロック大会や全国大会において、他都道府県を凌駕する戦績を残しております。特筆すべきは、広島インターハイにおいて、福島南高校男子が県勢6年ぶりで第3位、福島西高校女子が64年ぶりにベスト8進出、岩手国体においても、少年女子がベスト8進出、成年男子が3回戦進出するなど、強化の成果が徐々に表れております。

また、本年度はいよいよ南東北インターハイのバスケットボール競技が、本県で開催されます。その檜舞台で本県チームが大きな活躍をし、「強い福島」を全国にアピールするため、本協会は強化普及を推進して参ります。各カテゴリーとの連携を強化し、段階的で一貫した強化推進事業や、運営組織体制の整備をさらに進めることが肝要であります。そこで、平成二十五年より継続して実施している、本協会独自の財源確保事業の一つとして、「チーム福島応援グッズ」を今年度も実施いたします。チーム単位での注文や各種大会での店頭販売による益金であります。昨年度より、新小学4年生、新中学1年生、新高校1年生と、新たなカテゴリーでバスケットボールを始めようとする学年の方には、特に購入をお願いしているところであり、今年度も同様にご協力いただけますようお願い致します。これまでの益金はU12、U13の強化事業への補助と、指導者育成のためのコーチコミッテリーの運営費補助など、多岐にわたり様々な活動に有効活用しております。ミニバスケットボールから一般までの、福島とバスケットボールを愛する競技者の皆様、指導者の皆様、関係各位の団結を強くすることもグッズ販売の一つのねらいとしております。

本協会の使命である、「バスケットボールを通じた健全な人間育成」などの社会貢献をさらに推進するため、趣旨にご理解とご賛同をいただき、格段のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成二十九年 四月 吉日

福島県バスケットボール協会

会長 佐藤 洋光